

=====

◆□◆◆□ 群馬産業保健推進センター メルマガ第 12 号 ◆□◆◆□
□◆□◆□ ホームページ <http://www.gummasanpo.jp/> □◆□◆□

=====

このメルマガジンは群馬産業保健推進センターのホームページに掲載された
新着情報や産業保健関連情報等を配信しますので、是非お読み下さい。

--<群馬産業保健推進センターからのお知らせ>-----

- 1 職場におけるメンタルヘルス対策・過重労働対策関連指針・通達等について職域における
メンタルヘルス・過重労働対策が大きな課題となっておりますが、標記対策に係る関連指針、通達、
パンフレット、チェックリスト、マニュアル等が整理・掲載されておりますのでご利用ください。
主な掲載内容は次のとおりで、詳しくは、下記厚生労働省ホームページでご覧いただけます。

- ①労働者の心の健康保持増進のための指針（18.3.31 公示第 3 号）
- ②労働者の心の健康保持増進のための指針について（18.3.31 基発第 0331001 号）
- ③心の健康づくり事例集（中央労働災害防止協会）
- ④こころの健康 気づきのヒント集（中央労働災害防止協会）
- ⑤心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き（16.10.14 報道発表）
- ⑥職場における自殺の予防と対応
- ⑦仕事のストレス判定図
- ⑧職業性ストレス簡易調査票
- ⑨過重労働による健康障害を防止するための総合対策について（20.3.7 基発第 0307006 号：一部改正）
- ⑩労働者の疲労蓄積度チェックリスト
- ⑪過重労働による健康障害防止対策の手引き
- ⑫長時間労働者への面接指導チェックリスト（医師用）
- ⑬長時間労働者への面接指導マニュアル（医師用）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzenisei12/index.html>

- 2 相談機関利用促進員による事業場の訪問指導が始まりました

「メンタルヘルス不調者等の労働者に対する相談機関による相談促進事業」（厚生労働省委託事業）
に基づく相談機関利用促進員による事業所の訪問指導が始まり、10月中に全県下で30事業場を
訪問指導いたしました。

その結果報告によると、メンタルヘルス不調者が現在又は過去に発生した事業場の割合が2～3割
程度あり、相談機関利用促進員による訪問指導や各種支援機関・支援事業等があるのは有難いとし、
是非相談をしてみたい、必要に応じ相談してみたいとの事業場も2割程度あった。また、メンタルヘ
ルス対策への課題として、①従業員への教育訓練の必要性、②コミュニケーションスキルアップ、
③家庭問題への対応、④ストレス解消法、⑤長時間労働者への配慮、⑦人間関係への配慮、⑨情報の
共有などが挙げられ、今後、衛生委員会で取り上げていきたいとの意見も寄せられている。訪問指導を
通じ、事業場のメンタルヘルス対策への取組が進展する契機になればと考えており、支援を受けてみた
い事業場は、是非、支援申込を当センターへして頂きたい。

3 群馬産業看護研究会・健康保険組合連合会群馬連合会共催の研修会の開催について

10月24日（金）午後2時から群馬県医師会館新館第2委員会室において、初めての群馬産業看護研究会と健康保険組合連合会群馬連合会産業保健師看護師連絡協議会共催の研修会が開催され、25名余の方が出席し盛会に開催された。研修会では始めに、上野美智子先生（東京産業保健推進センター相談員、群馬産業看護研究会顧問）による「働く人の健康管理に携わる看護職の役割」一事例を当てはめて考える一をテーマとした講演があり、続いて、予め提出された質疑事項（14項目）のうち、下記の5項目に絞ったグループワーク（討議結果の発表含む）が行われ、講師の上野先生も各班を回り適宜助言指導をして頂いた。

参加者からは、一人職場が多い中で問題を一人で抱え込まないよう情報交換等ができ、有意義な時を過ごすことができよかったなどの意見が寄せられた。今後とも、同じ目的の研修等の実施に当たっては、協力し合っていくことにしている。関心のある方は、是非とも「群馬産業看護研究会」にご加入頂きますように。

- （1）保健指導がうまく行っているか不安。なかなか保健指導の成果が出ないため、評価されない。評価されるようにするには、どうしたらよいか。
- （2）メンタル不全者が復帰後良くなった場合（通院しなくなった場合）、どのくらいの期間まで面談した方が良いのか。
- （3）定期健診や特殊健診結果の集計や分析方法
- （4）「衛生活動は専門の人にお任せする」というかたちにはしないためにはどうするか。会社や職場で「働きやすい健康職場をつくる」という雰囲気へのもって行き方はどうすればいいのか。業績が悪く、生産活動で厳しい中では、健康は大事なのはわかるが、これ以上仕事を増やされたくないという社員の気持ちもわかる。」
- （5）産業医がうまく機能していない。機能するように進めるためには、どのように関わればよいか。

4 当センターで実施の産業保健セミナー（12月～1月予定）のご案内

（1）第285回セミナー「アルコール依存症を中心に」

開催日時 12月2日（火）14：00～16：00

開催場所 群馬産業保健推進センター

前橋市千代田町1-7-4（tel 027-233-0026）

講師 赤城高原ホスピタル

副院長 村山 昌暢（むらやま まさのぶ） 氏

内容 飲酒制御能の歴史を本態とする‘生活習慣病’とも言えるアルコール依存症。本邦で現患者82万人と言われる本症の詳細や、それへの対応策を紹介する。

（2）「新型インフルエンザ対策」

開催日時 12月3日（水）14：00～16：00

開催場所 伊勢崎市文化会館

伊勢崎市昭和町 3918（tel 0270-23-6070）

講師 藤田 晴康 相談員

内容 新型インフルエンザとは何か、その動向と見通しをお伝えし、事業所がとるべき対策方針とパンデミック時の対応例を解説します。

(3) 産業看護基礎講座

第286回セミナー「健康診断診断結果の保健指導（栄養指導）」

開催日時 12月10日（水）14:00～16:00

開催場所 群馬産業保健推進センター

前橋市千代田町1-7-4（tel 027-233-0026）

講師 （社）日本栄養士会 理事

野口 泰子 氏

内容 本年4月からスタートした「特定健診・保健指導」について、現在見えてきた課題と保健指導のポイントの確認、その実践についての演習を行います。

(4) 渋川地区医師会産業医研修

開催日時 12月15日（月）19:00～21:00

開催場所 渋川地区医師会館

渋川市金井356（tel 0279-23-1181）

講師 関口光男 相談員

内容 労働衛生関係法令について

(5) 「健康診断診断結果の保健指導（運動指導）」

開催日時 1月20日（火）14:00～16:00

開催場所 （財）東日本労働衛生センター

伊勢崎市戸谷塚町 629-1（tel 0270-32-7575）

講師 （財）東日本労働衛生センター スタッフ

内容 メタボリックシンドローム対象者及び予備群への運動習慣の必要性を考える。

5 他機関で実施の研修会等のご案内

(1) 「中央労働災害防止協会主催のメンタルヘルス研修」のご案内

① メンタルヘルス対策総合セミナー

～メンタルヘルスケアの実践が分かる～

② メンタルヘルス指針に基づく 管理監督者セミナー

～積極的傾聴法～

③ メンタルヘルス指針に基づく 産業保健スタッフセミナー

（自律訓練法の指導法など）

④ ストレス調査による メンタルヘルス対策ワークショップ

～職場環境改善で進める心の健康づくりから～

詳細は、下記中央労働災害防止協会ホームページでご覧いただけます。

<http://www.jisha.or.jp/health/index.html>

(2) 平成20年度 心の健康づくりシンポジウム

開催日時 平成21年1月21日（水）13:00～17:00

開催場所 銀座ブロッサム（中央会館）

東京都中央区銀座2-15-6（tel 03-3432-7261）

シンポジウム テーマ「職場復帰支援のあり方と今後の方向性について

～最新の知見や研究成果を踏まえて～」

座長：島 悟 氏（精神科医・京都文教大学臨床心理学部 教授）

シンポジスト1：産業保健の立場から

岡田邦夫 氏（大阪ガス（株）健康開発センター 統括産業医）

シンポジスト2：労働法の立場から

三柴丈典 氏（近畿大学法学部 准・弁護士）

シンポジスト3：人事労務の立場から

高橋信雄 氏（JFEスチール（株）安全衛生部 部長）

特別講演 テーマ「病気等のブランクを克服できる企業活動」

演 者 今野浩一郎 氏（学習院大学経済学部 教授）

対 象 者 事業者、事業場内産業保健スタッフ、人事・労務管理者など

参 加 費 無 料

問合せ先 中央労働災害防止協会 健康確保推進部

メンタルヘルス推進センター

東京都港区芝5-35-2 安全衛生総合会館6階

(tel 03-5452-3473 fax 03-3453-0730)

6 お知らせ

特定最低賃金の改正について

群馬労働局は11月20日、特定最低賃金（4業種）の改正決定（9～11円引上げ）を行い
官報公示された。（平成20年12月20日施行）

詳しくは、下記群馬労働局ホームページでご覧いただけます。

<http://www.gunmaroudoukyoku.go.jp/>

=====
<<群馬産業保健推進センターメール配信サービス解除、変更はこちらから>>

<http://www.gummasanpo.jp/melmag/index.html>

<<このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから>>

sanpo10@gummasanpo.jp
=====

《発行元》群馬産業保健推進センター

電話：027-233-0026 FAX：027-233-9966